

平日例会

紫陽花を求めて



日時：平成27年6月17日(水) 集合：京急金沢八景駅 10:00

コース：金沢八景駅→瀬戸神社→批把島神社→野島公園展望台→旧伊藤博文別邸→八景島 (自由散策後解散)
14,000歩 約10km

<オプション>八景島駅(シーサイドライン)→産業振興センター駅→御菓子の国
→産業振興センター駅 (伊藤自宅含め 24,000歩)

参加者：中村年L (以下氏名は名簿順) 合計15名

佐藤伊・吉越・平嶋・常盤・熊坂・仲・伊藤真・高林・渡辺り・小林俊・森川・井内・志村・武倉

天候：曇り

野島公園はKWCで今年5/13(水)バーベキューで来たばかりですが、今回のメインテーマは「八景島のあじさい祭」です。6/14(日)健脚コース関東ふれあいの道東京編「鳥のみち」に行ったばかりですが、今回はゆったりコースです。しかも八景島のあじさい祭は初めてです。天候が心配であったが、紫陽花には小雨も又良しの覚悟で締切直前に伝助登録しました。結果は平日と天気予報の為か人出も少なく、鎌倉の紫陽花より種類も多く約2万株の紫陽花が、シーパラダイスあじさい園の緩やかな坂道両サイドに咲き誇っていました。その上スタンプラリー御褒美付で満喫しました。オプションの「お菓子の国」は初めてでしたが、家内と孫たちの為に足をのぼし、皆さんお勧めの格安お菓子を買って、お土産にしました。天候の方は15時過ぎ新杉田駅乗り換え頃雨が降り出し、タイミング良く予定されていたアフターの店に飛び込みました。中村Lの企画案内努力に御天気様もお手を差し伸べられたものと思われ、深く感謝申し上げます。

【コースマップ】 京急金沢八景駅→シーサイドライン八景島 地図上は7,5kmですが、結果は歩数14,000歩 10km



【京急金沢八景駅】 中村 L の御出迎いです

【瀬戸神社】

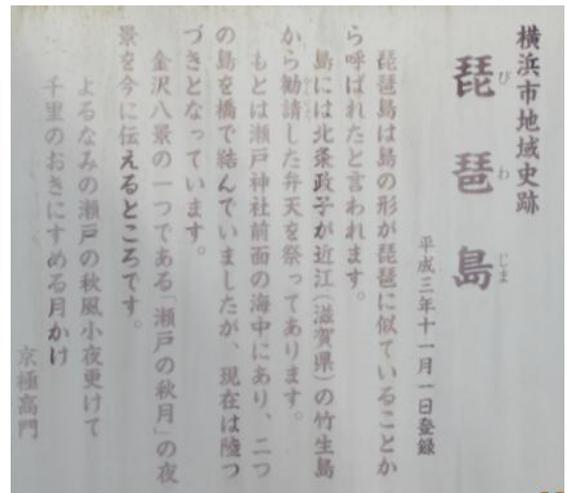
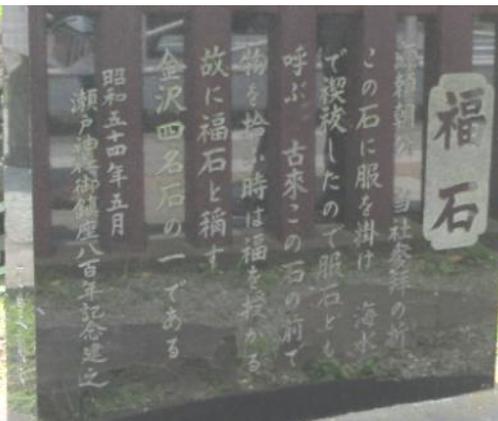


のが創建である。主祭神大山祇命他11柱。

古代現在の泥亀町から釜利谷東にわたる一帯は入江になっており、社の狭い水路によって平潟湾につながっていた。この水路は罪穢を流し去る神聖な場所として、海神が祀られるようになった。1180年源頼朝は伊豆で挙兵した際に加護をもらった伊豆三島明神をこの地に勧請し社殿を建立した



瀬戸神社から平潟湾に向かって突き出た島が琵琶島
元々は海の中にあり、現在は繋がっています。その入口に「福石」



先端に小さな社殿、入れません。

枇杷島を上から観た写真(HP から引用)



引き潮で平潟湾の底がむき出しでした。アサリを獲っているようです。



- 金沢四石
1. 琵琶島: 福石
 2. 金龍院: 飛石
 3. 称名寺: 美女石
 4. 称名寺: 姥石

御神木です



弁天石像



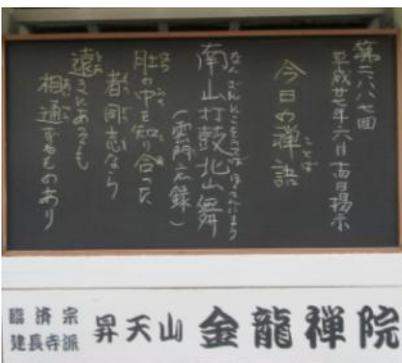
枝ぶりの良い木は椅子がわりに最高のようです。



正面小高い神社が先程参拝した「瀬戸神社」です



【金龍禅院】臨済宗建長寺派の寺院。永徳年間(1381~1384)建長寺47世方圭が創建。境内裏山に有る「九覧亭」は金沢八景隋一と言われ幕末から昭和初期まで賑わいを見せたそうです。



見事なノウゼンカヅラと白い紫陽花？



金沢四石の一つ「飛石」(奥庭の中で当日は入りませんでした。参考までにHPから引用しました。ここも機会があれば申し出ると入れるようです。) P4



「九覧亭」入口許可をもらい入ります。金沢八景+富士山が見えることから「九覧亭」と名付けられたようです



周囲の木が大きく「金沢八景」は見えません。藤棚



蟻が沢山おりました



九覧亭上から観た金龍禅院本殿と奥庭が見えます(ここに飛石がある。九覧亭山上に有ったが地震で転げ落ちた)



庭木もよく手入れされており、風情あり 門は自分たちで閉める。インターホンで御礼を・・・まだ一人いる？



平潟湾右岸を前回同様、シーサイドライン曲線と野島を眺め、木々の花を愛でながら歩く。



湾沿い遊歩道を、侍従川（歌舞伎に出る小栗判官照手姫が身を投げたことを嘆き、侍従がこの川に飛び込んだことからこの名前が付けられたそうです。）



夕照橋と野島を見ながら侍従橋を渡ると、すぐ野島へ渡る「夕照橋」^{ゆうしょうばし}です。ここでもアサリ獲り、プロ？ 大きいアサリを沢山！



中村 L から「夕照橋」を入れて写真を依頼されましたが、逆光で人物の顔は黒く、橋だけ目立ちました。



野島公園へ行く途中のジャンボサボテン花が咲き始めでした。研修センター前で休憩



稲荷社左の石段を登る、今日唯一の健脚石段。約20cmh×239段=約50mか?



野島公園に到着、昼食です。貝塚説明盤に記入あり、やはり50mでした。

【野島公園】 5, 700歩 11:30~12:00 昼食

トンビにさらわれないよう、枝ぶりの良い桜大木の下木陰での昼食です。



緑の芝草の上や、桜の根っこにシートを敷いて、美味しく戴きました。桜も古木で花見にも良いところのようです。

この後行く八景島シーパラダイスです。



展望台に登ります。



展望台集合写真（御夫婦の主人に P1 巻頭の写真より一段上から撮影して戴いた 15 名全員御揃）



この後ぐるとこの浜を歩く「海の公園」



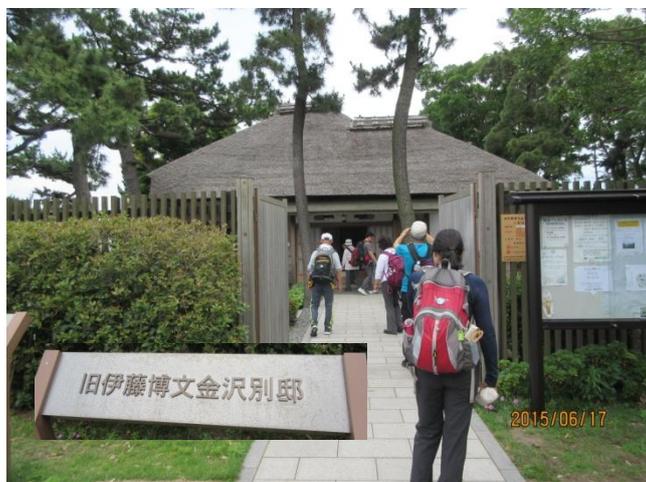
潮干狩りの様子



帰りはアジサイや野花の咲く緩やかな歩道を下ります。



【旧伊藤博文金沢別邸】 以前より整備され綺麗になっていました。手を振るのは伊藤夫人ではありません。ここで話題になった博文の先妻はすみ子と云い、入江喜伝次の娘で1863年結婚、そりが合わず1866年離婚。後妻は梅子、木田久兵衛の長女(元下関の芸妓小梅)で1866年再婚。博文是相当な女好きであったようです。



庭園のマツバギクが綺麗でした。野島公園を出ると「麦とハルシャギク、サントリービールです！」野島運河



シーサイドラインの下、紫陽花を含む花壇の花を見ながら歩きます。もうすぐ海の公園です。



【海の公園】「健康歩道」を靴脱ぎで代表歩きは最高齢 S さん

先程登った野島、あそこから歩きました



【八景島シーパラダイス&あじさい八景マップ】 13:50 橋入口で休憩して、さ~あ! あじさい祭り



橋の入口、駅までバスも有ります

14:00までここで休憩し、橋を渡りシーパラダイスへ。



【紫陽花スタンプラリー】 全員参加 紫陽花種類が多すぎてお名前はカットさせて戴きます



あじさいの学名

あじさい マ × 豆知識

手まり型のホンアジサイの学名は、Hydrangea macrophylla (ハイドランジア マクロフィラ)です。

ハイドランジアはギリシャ語の「水」と「容器」の言葉からなる合成語で、マクロフィラは「大きな葉をした」という意味です。学名にも形や性質だけでなく、発見者などの名前が使われていることもよくあります。

幕末の長崎に住んだオランダの商館医師、シーボルトが日本で一緒に過ごした女性「お滝さん」(楠本 滝)から命名したものとされている「ハイドランジア オタクサ」が有名です。

2015/06/17



スミダノハナビ

八景島で鑑賞できる紫陽花について

八景島にはガクアジサイ(18,000株)、セイヨウアジサイ(2,000株)が植えられています。これらのアジサイは平成5年の八景島オープンに合わせて植えられたもので、近年梅雨どきに見事な花を咲かせるようになりました。

ガクアジサイ
ユキノシタ科に属する落葉低木です。高さは2m前後になり、葉は光沢ある広卵形、原質の明緑色をしています。花は6月頃に咲き、枝先の中央に小形の両性花を多数つけ、その外周に星形の装飾花(中性花)をつけています。色は淡紅色、淡青紫色、紫色、まれに白色があります。房総半島、三浦半島、伊豆諸島など暖地の海岸沿いの山地に生えています。

セイヨウアジサイ
日本産のアジサイが18世紀末にヨーロッパへ持ち込まれて品種改良され、日本に逆輸入されたものを総称して言います。現在では数百種にもなります。アジサイの花の色というのは土壌が酸性では青色、アルカリ性では紅色になります。また土壌に含まれる肥料の産量によっても変化し、窒素が少ないと紅色が薄く、窒素が多くカリが少ないときは紅色が強くなり、カリが多いと青色が強くなります。



バージンロードの鐘を鳴らしました。後期高齢者も夢を見て・・・? やはり孫娘でしょうか?

ばら苑も綺麗でした やはり赤いバラはハートをとらえます プリンセスミチコ プリンセスアイコ



やはり紫陽花道は熟女がお似合いです



熟女連集合！ 熟男連集合は？無し



このバスに乗ってみたい！

ダンスパーティ

可愛いですね



沢山見ました。
ネーミングが面白い、
若返りました。

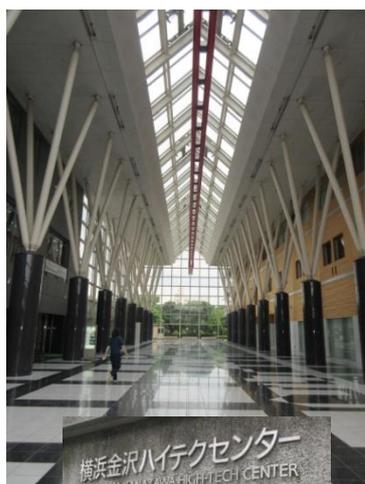
最後の記念集合写真(カメラマンTさん)



スタンプラリー提出 スタンプ1ヶのKさんもゲットしました。 中村L解散宣言、この後オプション案内



【オプション】八景島駅からシーサイドラインに乗り産業振興センター駅で降り、周辺3ヶ所お菓子の工場巡り



喉が乾いた・・・



早くビールが飲みたい!

【アフターin 養老の滝 新杉田】 15:00~16:30 新杉田駅に着くなり大ぶりの雨、すぐ近くの「養老の滝」に入る。先発4人で中村L生ビールで「カンパニー！」スタート、焼酎ボトルも撮り、お菓子の国不参加の3人、手違いがあり既に一杯やり、携帯連絡して、遅れて合流されました。以前の養老の滝と違い料理も変わったおつまみもあり、おいしくなった気がしましたが・・・紫陽花に恋をしながら歩いた後の一杯は、格別最高でした。



編集後記：梅雨時期天候に恵まれて、花紫陽花を堪能出来ました。歴史と自然と公園がまとまったエリアのゆったりコース設定でした。オプションの金沢産業団地のお菓子工場巡りも中小企業の活きる厳しさと努力をしていることを学習させて戴きました。その上でお土産のお菓子、北陸金沢と高岡に旅行に行っていた家内とお土産交換し喜ばれました。梅雨に咲く紫陽花、種類の多さとその上ロマンチックな名前を付け、手頃な散歩坂道の両脇に咲き誇り、感銘を受けたあじさい祭りでした。

地元中村Lの企画と案内に厚くお礼申し上げます。

写真は今日1日で233枚撮り、14頁になりましたが載せきれません。出かける前に一眼レフも一旦リュックに入れたのですが、重いのと雨の場合を考え取り出し置いてきて反省しております。

いつものポケ防止用日記帳「メモと写真」です。失礼な記述や誤記が有るかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。